

西遊記 (1984)

西遊記

メディア TV

ジャンル 文芸 アクション ファンタジー

製作国 中国

【解説】

中国中央電視台の制作による西遊記のTVシリーズ化（1時間番組、全25話）。孫悟空の生い立ちから、三蔵法師の天竺へのお供として、猪八戒、沙悟浄と3人がそろうまでに8話かかるなど、導入部分を特に丁寧に描いている。日本での西遊記は、孫悟空のヒーロー性が強調されるのに対して、こちらはやはり猿の妖怪である点をふまえ、メイク、演技ともに猿らしさを強調、ヒーローというよりは、破天荒なパワーをもった暴れ者というイメージに近い。特撮の水準は高くないが、ビデオ合成を多用した大胆な画面の数々も、悟空のパワー描写に一役買っていた。また、悟空、八戒がいかにも妖怪的なのに対し、悟浄には「河童」のイメージはなく、もっとも人間に近いスタイルになっている。三蔵法師は、もちろん男性が演じている。日本では、89年に日本テレビの深夜枠で、竹内公一の解説を加えて1週2話連続（2時間枠）で放映された。疲れたサラリーマンのストレス解消用という感じのウリであった。

【クレジット】

原作 呉承恩

撮影 王崇秋

出演 六小齡童

遲重瑞飾